

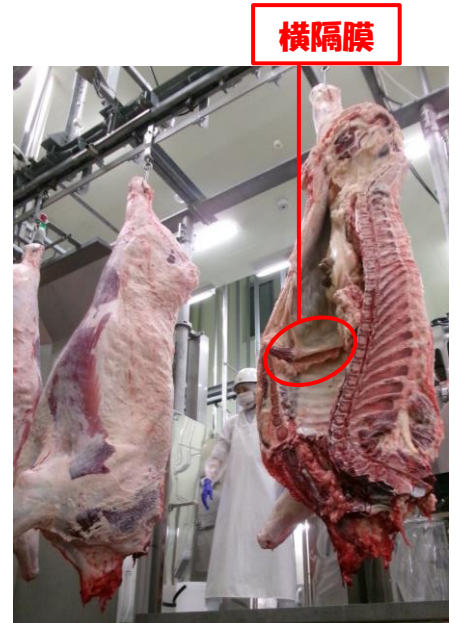
と畜検査について (枝肉検査)

枝肉とは、家畜を放血して皮をはぎ、頭部、内臓、足の先端を取り除いた骨付きの肉です。枝肉検査は視診や触診などで筋肉、腎臓、リンパ節、横隔膜などに異常がないかを一頭毎に検査します。横隔膜はハラミ、サガリとして焼肉屋さんでは人気の部位です。

枝肉の重量は個体により異なりますが豚で約80kg、牛で約500kgもあります。

限局した病変はその部分を廃棄(一部廃棄)し、伝染病や全身性の疾病が疑われる場合は検体を採取し精密検査を行い、結果次第では内臓、枝肉等、と体全体を廃棄します。

ところで、腎臓の形は動物種によって異なり、牛の腎臓はいくつもの部屋に分かれたようなボコボコした特徴的な外見をしています。一方、豚の腎臓は豆型で表面もつるっとしています。



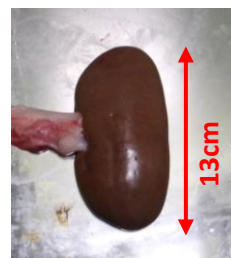
牛枝肉検査



豚枝肉検査



牛の腎臓



豚の腎臓